

## ■ 統計・資料 ■

### 展覧会別観覧状況

区 分	常 設 展	特 別 企 画 展		所 蔵 品 展	計	ファミリー 文学館	母と子の 文学のつどい
	北海道文学の 流れ	北海道の短歌	有島武郎と ヨーロッパ	吉田一穂と その時代		エッチングで さし絵作り	大井戸百合子・銅版画に よる絵本原画とさし絵展
開 催 日 数	294日	31日	56日	36日	294日	5日	9日
観 覧 者 総 数	9,285人	1,034人	2,860人	907人	14,086人	80人	491人
有 個 人	一 般	5,162	751	2,060	500	8,473	
	大 学 生	470	4	132	38	644	
	高 校 生	189	5	0	19	213	
	小 中 生	636	1	46	46	729	
	小 計	6,457	761	2,238	603	10,059	
団 体 料	一 般	550	10	91	0	651	
	大 学 生	144	0	74	0	218	
	高 校 生	44	0	0	0	44	
	小 中 生	43	0	0	0	43	
	小 計	781	10	165	0	956	
免 除	2,047	263	457	304	3,071		
合 計	9,285	1,034	2,860	907	14,086		

※ 小中高生は、常設展及び所蔵品展は無料。

### 閲覧室利用状況

区 分	人数・件数	1日平均
開 室 日 数	294日	
利 用 者 数	2,663人	9.1人
レファレンス件数	107件	0.4件
資料閲覧件数	132件	0.4件

### 事業種別来館状況（総括）

	区 分	利用者数
受 託 事 業	展覧会事業	14,086人
	閲覧事業	2,663
	講演会・セミナー事業	586
	文芸映画上映会事業	199
	その他の教育普及事業	569
財団独自事業		551
計		18,654

## 資料収集状況

区 分	購入点数	受贈点数	受託点数	特別資料内訳		
				区 分	購 入	受 贈
図書	691	675	0	原稿	84	1
雑誌	423	3,108	0	書簡	26	25
CD-ROM	5	0	0	色紙・短冊	2	21
VTR・テープ	1	4	0	その他	17	84
特別資料	129	131	0	計	129	131
レプリカ	2	0	0			
計	1,251	3,918	0			

## 主な購入特別資料一覧

種 別	作 家 名	資 料 名	形 態	数 量
色紙	吉田一穂	吉田一穂自筆句書	扁額	1
写真	船山 馨	西創成尋常高等小学校卒業記念	写真	1
パンフレット	本庄陸男	「石狩川」 新協劇団	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「群盗」 京都新劇団懇話会	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「織匠」 新演劇人協会	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「ホオゼ(腰巻)」 新生劇協会	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「日本の気象」 劇団民芸	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「林檎園日記」 東宝株式会社	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「天佑丸」 大阪協同劇団	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「天佑丸」 劇団民芸	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「火山灰地」 テアトロ社	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	「火山灰地」 有楽座	パンフレット	1
パンフレット	久保 栄	パンフレット大阪協同劇団	パンフレット	1
版画	猪狩満直	農婦	和紙	1
原稿	渡辺 茂	「村に残る友への便り」	原稿用紙	3
原稿	葛西暢吉	差押	原稿用紙	2
原稿	葛西暢吉	お天気のおえ日	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	姉に送る手紙	原稿用紙	3
原稿	真壁 仁	解放された葛西暢吉	原稿用紙	2
版画	猪狩満直	馬	和紙	1
原稿	猪狩満直	或る会合の後に	罫紙	6
原稿	更科源蔵	一着の外套だ	原稿	1
原稿	更科源蔵	編集後記	原稿	1
原稿	竹内てるよ	漁村にて	原稿用紙	3
原稿	真壁 仁	娘達の話	原稿用紙	1
原稿	猪狩満直	炭坑長屋物語	原稿用紙	9
原稿	真壁 仁	雨の中の見知らぬ少女に	原稿用紙	2
原稿	葛西暢吉	おい貧乏人仲間	罫紙	3
原稿	渡辺 茂	再び小さい弟に寄せて	原稿用紙	3
原稿	猪狩満直	馬市の話	原稿用紙	3
原稿	渡辺 茂	君に送る詩	原稿用紙	2
原稿	葛西暢吉	叩き大工の謳歌	原稿用紙	2
原稿	猪狩満直	抗弁	原稿用紙	5
原稿	更科源蔵	編集後記	原稿用紙	4
原稿	更科源蔵	編集後記	原稿用紙	1
原稿	葛西暢吉	叩き大工の詩 いノ1,2	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	著作	便箋	1
版画	猪狩満直	坊主になりし自画像	和紙	1
原稿	葛西暢吉	叩き大工の詩 ろノ一、にノ二	原稿用紙	2
原稿	渡辺 茂	日高山道の友に	原稿用紙	3
原稿	真壁 仁	目覚メ	原稿用紙	2
原稿	坂本七郎	リアル	原稿用紙	1
原稿	坂本七郎	阿寒よ燃えろ	原稿用紙	5

種別	作家名	資料名	形態	数量
原稿	渡辺 茂	僕たちへの断片的覚帳	原稿用紙	4
原稿	竹内てるよ	無名の人々	洋紙	1
原稿	猪狩満直	無題詩	原稿用紙	1
原稿	猪狩満直	覚え書き詩一つ	原稿用紙	1
原稿	猪狩満直	働きつつある失業者	原稿用紙	3
原稿	更科源蔵	木立	原稿用紙	1
原稿	更科源蔵	オーイ	原稿用紙	1
原稿	更科源蔵	代用教員の詩	原稿用紙	1
原稿	猪狩満直	村の話(一)	ノート切れ	2
原稿	中島葉那子	どん底の詩	原稿用紙	4
原稿	葛西暢吉	叩き大工の詩ほノ一、そノ二、にノ四	原稿用紙	2
原稿	猪狩満直	敵は本能寺にありー再び高山君へ	便箋	11
原稿	真壁 仁	古譚よ燃えろ	原稿用紙	6
原稿	渡辺 茂	がまん	原稿用紙	2
原稿	猪狩満直	敵は本能寺にあり	原稿用紙	3
原稿	猪狩満直	アニマル	便箋	4
原稿	猪狩満直	嵐の日の詩	便箋	4
原稿	岡崎一男	町の祭礼にて	原稿用紙	1
原稿	猪狩満直	後記	和紙	1
原稿	渡辺 茂	夜(1-6)	原稿用紙	8
原稿	猪狩満直	窓(一)	原稿用紙	3
原稿	中西悟堂	真壁仁君の『街の百姓』に寄せる	原稿用紙	7
原稿	土田樞夫	養豚手帳	原稿用紙	8
原稿	更科源蔵	カラス	原稿用紙	4
原稿	更科源蔵	十一月の日記断片	原稿用紙	4
原稿	更科源蔵	後記	原稿用紙	1
原稿	坂本七郎	鐵屑集	原稿用紙	6
原稿	高田博厚	「北緯五十度」「犀」の諸兄	原稿用紙	10
原稿	真壁 仁	蔵王の吹雪	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	門づけをしない彼	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	秋雨(花嫁の詩・三)	原稿用紙	2
原稿	渡辺 茂	旅の歌	原稿用紙	8
原稿	茂木 幹	コタン有情	原稿用紙	6
原稿	松田利勝	炭で書いた自画像(二)	原稿用紙	4
原稿	松田利勝	炭で書いた自画像(三)	原稿用紙	3
原稿	猪狩満直	花屋と私	原稿用紙	9
原稿	真壁 仁	復活号を読んで	原稿用紙	4
原稿	猪狩満直	手紙	原稿用紙	2
原稿	更科源蔵	後記	原稿用紙	2
原稿	坂本七郎	第六夕暮れの詩	原稿用紙	4
原稿	末繁博一	四邊	原稿用紙	1
原稿	真壁 仁	野良(同題ノ三)	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	人間事	原稿用紙	5
原稿	加藤愛	手紙 更科源蔵 宛	原稿用紙	6
原稿	更科源蔵	穴	原稿用紙	1
原稿	更科源蔵	隣	原稿用紙	1
原稿	杉山市五郎	雨催ひ	原稿用紙	2
原稿	中西悟堂	クルミのおもちゃ	原稿用紙	3
原稿	更科源蔵	後記	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	夜道を歩きながら	原稿用紙	3
原稿	真壁 仁	手紙 茂木幹宛	原稿用紙	2
原稿	更科源蔵	肉牛群	原稿用紙	2
原稿	真壁 仁	参太の話	原稿用紙	1
原稿	更科源蔵	北緯五十度原稿入封筒	封筒	1
原稿	入封筒	『人間の復活』絵表紙原画	和紙	1
原稿	島木健作	島木健作書簡 佐藤 續宛	原稿用紙	1
原稿	島木健作	東京夜景	色紙	1
原稿	小熊秀雄	高村光太郎書簡 更科源蔵宛	官製葉書	1
原稿	高村光太郎	森田たま書簡 岡田耕三宛	巻紙	13
原稿	森田たま	小林多喜二書簡 雨宮庸蔵宛	便箋	1
原稿	小林多喜二	去年の雪	原稿用紙	15
原稿	小田宗治	吉田一穂書簡 更科源蔵宛	官製葉書	4
原稿	吉田一穂	吉田一穂書簡 更科源蔵宛	原稿用紙	6通
原稿	吉田一穂	故里の顔	原稿用紙	6
原稿	小林多喜二	戸隠の絵本	原稿用紙	1
原稿	萩原朔太郎	逆流	原稿用紙	40
原稿	本庄陸男			

## 平成10年度企画展 「吉田一穂とその時代」 出品目録

### 墨書

吉田一穂墨書 「半眼微笑」  
 吉田一穂墨書 「地に沙鉄あり不断の泉湧く……」  
 吉田一穂墨書 「独脱無依」  
 吉田一穂墨書 「落葉絶運…」  
 吉田一穂墨書 「月かけおいて来るものに……」  
 吉田一穂墨書 「未知から白鳥は来る……」  
 吉田一穂墨書 「白林虚籟」  
 吉田一穂墨書 「ふるさとは波にうたるる月夜かな……」  
 吉田一穂墨書 「鯨」  
 吉田一穂墨書 「峡灣に漕ぐ雪解の水。候鳥に手をあげる……」  
 吉田一穂墨書 「鳥跡汀拾流木……」  
 吉田一穂墨書 「月白し砧むとやむ雉の声」  
 吉田一穂墨書 「春風馬上益」  
 吉田一穂墨書 「鞆ごととおくちかくに波の音……」  
 吉田一穂墨書 「亜細亜紀」  
 吉田一穂墨書 「月天心乙女菩薩となりにけり」  
 吉田一穂墨書 「種の血 族の夢……」  
 吉田一穂墨書 「時空の罫に雷砕ける……」  
 佐伯郁郎墨書 「花の相」  
 久松真一墨書 「世に背き……」

### 墨画

吉田一穂 「半眼微笑」

### 色紙

吉田一穂自筆色紙 「望郷珠の如し」  
 吉田一穂自筆色紙 「半眼微笑」  
 吉田一穂自筆色紙 「濤の音こもりてあらし松原に……」  
 吉田一穂自筆色紙 「一穂寒燈」  
 吉田一穂自筆色紙 「杖にしまた夢めぐる朝夕の……」  
 高橋新吉自筆色紙 「るすといえここにはたれも……」

### 短冊

吉田一穂自筆短冊 「半眼微笑」  
 吉田一穂自筆短冊 「月天心乙女菩薩となりにけり」  
 吉田一穂自筆短冊 「一穂寒燈」  
 吉田一穂自筆短冊 「白林虚籟」  
 吉田一穂自筆短冊 「杖にしまた夢めぐる朝夕の……」  
 吉田一穂自筆短冊 「濤の音こもりてあらし松原に……」  
 吉田一穂自筆短冊 「崖の青の淀みに綱うてばみなかに……」  
 吉田一穂自筆短冊 「よべの雨うらの芦間に水嵩のまして……」  
 吉田一穂自筆短冊 「ふるさとは波にうたるる月夜かな」

### 書簡

吉田一穂書簡 及川一郎宛 昭和28年7月1日付  
 吉田一穂書簡 及川春枝宛 昭和44年4月5日付  
 吉田一穂書簡 今井富士雄宛 昭和10年月日不明

### 葉書

吉田一穂葉書 及川春枝宛 昭和28年8月17日付  
 吉田一穂葉書 及川一郎宛 昭和28年6月9日付  
 吉田一穂葉書 岡崎清一郎宛 昭和12年4月22日付  
 吉田一穂葉書 岡崎清一郎宛 発送年月日不明  
 吉田一穂葉書 岡崎清一郎宛 発送年月日不明  
 吉田一穂葉書 添田邦裕宛 昭和32年10月31日付  
 吉田一穂葉書 添田邦裕宛 昭和28年6月9日付  
 吉田一穂葉書 添田邦裕宛 昭和26年12月24日付  
 吉田一穂葉書 添田邦裕宛 昭和32年10月31日付  
 吉田一穂葉書 添田邦裕宛 昭和27年7月8日付  
 吉田一穂葉書 鈴見健次郎宛 昭和24年4月3日付  
 北川冬彦葉書 吉田一穂宛 昭和24年10月22日  
 蒲地歡一葉書 吉田一穂宛 昭和28年5月28日付

### 自発原稿

吉田一穂自筆原稿 「古代緑地」  
 吉田一穂自筆原稿 「白鳥古丹」  
 吉田一穂自筆原稿 「道産子」  
 吉田一穂自筆原稿 「非存」  
 吉田一穂自筆原稿 「影」  
 吉田一穂自筆原稿 「地獄の骰子」  
 吉田一穂自筆原稿 「微塵像」  
 吉田一穂自筆原稿 「日本語の形態と民族の形成……」  
 吉田一穂自筆原稿 「稗子傳」

吉田一穂自筆原稿 「日本四季辞譜図典」  
 吉田一穂の絶筆原稿  
 吉田一穂自筆原稿 「黒潮回帰・序文」  
 吉田一穂自筆原稿 「おべりすく」2号掲載分  
 吉田一穂自筆原稿 「く無の鍾」I  
 横光利一自筆原稿 「七階の運動」  
 金子光晴自筆原稿 「無法」  
 佐伯郁郎自筆原稿 「東北詩人風土記」  
 佐藤一英自筆原稿 「悲しき鈴」  
 佐藤一英自筆原稿 「二十世紀の詩の正座」  
 更科源蔵自筆原稿 「詩人の童話」  
 渡辺茂自筆原稿 「泥炭地」

### 吉田一穂著書

吉田一穂著 『稗子傳』 1939年(昭和11)ボン書店  
 吉田一穂著 『黒潮回帰』 1941年(昭和16)一路書宛  
 吉田一穂著 『吉田一穂詩集』 1952年(昭和27)創元社  
 吉田一穂著 『故園の書』 1930年(昭和5)厚生閣書店  
 吉田一穂著 『海の聖母』 1973年(昭和48)渡辺書店  
 吉田一穂著 『古代緑地』 1958年(昭和33)木曜書房  
 吉田一穂著 『冷明集』 1976年(昭和51)コーベックス  
 吉田一穂著 『吉田一穂試論集』 1948年(昭和23)

一路書宛

吉田一穂著 『桃花村』 1972年(昭和48)弥生書房  
 吉田一穂著 『羅甸薔薇』 1950年(昭和25)山雅房  
 吉田一穂著絵本 『ひばりはそらに』 1978年(昭和53)

フレーベル館

吉田一穂著絵本 『ウシカフムスメ』

G H Q 検閲セクション提出校正本

吉田一穂著 『未来者』 1948年(昭和23)青磁社  
 吉田一穂著 『極の誘い』 1948年(昭和23)一路書店  
 吉田一穂著 『うしかひむすめ』 1947年(昭和22)

霞ヶ関書房

### 吉田一穂校訂本など

吉田一穂著 『未来者』 編集用原稿本  
 吉田一穂編集用束見本 『黒潮回帰』 改稿用  
 吉田一穂 「桃花村」 草稿ノート  
 吉田一穂著 『ヒバリハソラニ』 完成原本1941年(昭和16)

帝国教育会出版部

吉田一穂校訂本 『吉田一穂童話集』

吉田一穂校訂本 『吉田一穂詩集』

吉田一穂校訂本 『黒潮回帰』

吉田一穂校訂本 『未来者』

吉田一穂校訂本 『ぎんかのさかな』

吉田一穂校訂本 『かしの木とことり』

吉田一穂校訂本 『古代緑地』

吉田一穂校訂本 『屋上の花』

吉田一穂著校訂本 『羅甸薔薇』

### 関連文学者著書

横光利一著 『機械』 1931年(昭和6)白水社  
 横光利一著 『秘色』 1940年(昭和15)新聲社  
 日夏耿之介著 『日本近代詩史論』 1949年(昭和24)

角川書店

日夏耿之介著 『転身の頌』 1917年(大正6)

光風館書店

金子光晴著 『鬼の児の唄』 1949年(昭和24)

十字屋書店

福士幸次郎著 『原日本考』 1942年(昭和17)白馬書房

中山義秀著 『いしぶみ』 1947年(昭和22)日産書房

中山義秀著 『故里の土』 1963年(昭和38)新潮社

吉田秀和著 『ソロモンの歌』 1970年(昭和45)

河出書房新社

吉田秀和著 『文学のとき』 1994年(平成6)白水社

春山行夫著 『詩人の手帖』 1955年(昭和30)河出書房

三木露風著 『廢園』 1909年(明治42)光華書房

三木露風著 『修道院生活』 1926年(大正15)新潮社

高橋新吉著 『高橋新吉詩集』 1953年(昭和27)創元社

佐藤一英著 『詩集みいくさの日』 1944年(昭和19)

湯川弘文社

北原白秋著 『北原白秋詩集』 1947年(昭和22) 鎌倉書房  
 小山一郎著 『アスーリヤ』 1986年(昭和61) 反世界社  
 北川冬彦著 『馬と風景』 1952年(昭和27) 時間社  
 安東次男著 『安東次男詩集』 1952年(昭和27) 三一書房  
 添田邦裕著 『詩集 地の骨』 1993年(平成5) 四九一アヴェン発行  
 水見悠々子著 『ふるさとの吉田一穂』 復刻版1998年(平成10) 築地書館  
 今官一著 『詩人・福士幸次郎』 1957年(昭和32) 桃源社  
 井尻正二著 『吉田一穂の世界』 1980年(昭和50) 人類文化社  
 吉田八岑著 『西洋 暗黒史外伝』 1971年(昭和46) 角川書店  
 吉田八岑著 『Vampires』 1998年(平成10) 角川書店  
 西条八十著 『砂金』 1919年(大正8) 復刻版1998年(平成10) 角川書店  
 井尻正二著 『独創の方法』 1976年(昭和51) 玉川選書  
 吉田美和子著 『桃花村まで』 1990年(平成2) 三月社  
 真壁仁著 『吉田一穂論』 1976年(昭和51) 深夜叢書社  
 秋山澄夫訳 『マラルメ詩集』 1955年(昭和30) 角川書店  
 渡辺茂著 『詩集 泥炭地層』 1955年(昭和30) 楡書房  
 蒲池欽一著 『石のいのち』 1953年(昭和28) 森北出版株式會社  
 今井鴻象著 『老いたる愛の詩』 1950年(昭和25) 千代田書院  
 更科源藏著 『無名』 1952年(昭和27) さるるん書房  
 桜井勝美著 『ボタンについて』 1953年(昭和28) 時間社  
 内山義郎著 『沙上の人』 1959年(昭和34) 三月社  
 星野水裏著 『浜千鳥』 1912年(大正元) 三月社  
 真貝亮子著 『白鳥古丹—詩人吉田一穂のふるさと—』 1991年(平成3) 糸市豆本の會  
 浦上帰一著 『粉砕都市』 1951年(昭和26) 関係図書  
 『日本現代詩選集』 1993年 米田ゲラント出版社  
 『日本現代代表詩選』 1997年 韓国創作と批評社  
 『吉田一穂試論集』 1948年(昭和23) 一路書房  
 『マラルメ研究』 3号 1933年(昭和8) アトリエ社  
 『墨海 久松真一の書』 久松真一の書刊行會編 1982年(昭和57) 燈影舎  
 『吉田一穂大系』 全三巻 1970年(昭和45) 仮面社  
 『定本 吉田一穂全集』 全3巻別巻1 1979年(昭和54) 小澤書店  
 『新詩論』 1号 1932年(昭和7) アトリエ社  
 『現代詩新講』 1951年(昭和26) 宝文館  
 『現代詩代表選集』 1号 1950年(昭和25) 小出書店  
 『現代詩講座』 2号 1950年(昭和25) 創元社  
 『詩と詩論』 5号 1931年(昭和6) 厚生閣書店  
 『日本詩集』 1919年(大正8) 新潮社  
 『佐藤一英歌曲集』 1991年(平成3) 佐藤一英「歌曲集」刊行會  
 『定本・吉田一穂詩集』 1976年(昭和51) 神戸柯書局  
 『児童文学』 1号 1931年(昭和6) 文教書院 復刻版  
 絵本  
 絵本『ハマノコタチ』 1942年(昭和17) 金井信生堂  
 絵本『ムラノナカヨシマタアシタ』 1941年(昭和16) 金井信生堂  
 絵本『ハナサキミノル』 1942年(昭和17) 金井信生堂  
 絵本『ハマノコタチ』 1942年(昭和17) 金井信生堂  
 絵本『サルトカニ』 1942年(昭和17) 金井信生堂  
 絵本『イッスンボフシ』 1942年(昭和17) 金井信生堂  
 雑誌  
 「日本未来派」 55号 1953年(昭和28) 日本未来派社  
 「詩学」 5月号 1973年(昭和48) 詩学社  
 「週刊朝日」 1973年(昭和48) 3月16日号  
 「現代詩手帖」 4月号 1973年(昭和48) 思潮社  
 「北方文芸」 9月号 1973年(昭和48) 北方文芸刊行會發行

「日本詩壇」 1月号 1934年(昭和9) 日本詩壇發行所  
 「日本詩人」 8月号 1926年(大正15) 新潮社  
 「詩神」 4月号 1951年(昭和6) 詩神社  
 「文藝」 2月号 1963年(昭和38) 河出書房新社  
 「文学散歩」 7月号 1961年(昭和36) 雪華社  
 「反響」 1936年(昭和11) 反響社發行  
 「おべりすく」 1号 1973年(昭和48) おべりすく發行所  
 「聖餐」 4月号 1935年(昭和10) 聖餐發行所  
 「佐藤一英追悼号」 1981年(昭和56) 韻律詩社  
 「現代詩」 8月号 1948年(昭和23) 詩と詩人社  
 「日本詩人」 11月号 1923年(大正12) 新潮社  
 「福士幸次郎素描」 1956年(昭和31) 尾張の福士会  
 「日本詩人」 2月号 1922年(大正11) 新潮社  
 「近代風景」 4月号 1937年(昭和2) アルス  
 「中山義秀」 図録 1990年(平成2) 鎌倉文学館  
 「至上律」 11号 1952年(昭和27) 至上律發行所  
 「令女界」 新年号 1947年(昭和22) 角川書店  
 「骰子一擲」 1966年(昭和41) 角川書店  
 「反世界」 創刊号 1967年(昭和42) 木曜書房  
 「反世界」 6号 1982年(昭和57) 反世界社  
 「反世界」 8号 1987年(昭和62) 反世界社  
 「反世界」 復刊号 1982年 角川書店  
 「九十年の歩み」 1973年(昭和48) 記念行事協賛會  
 「ユリイカ」 1987年(昭和62) 青土社  
 「キンダーブック」 1953年(昭和28) フレーベル館  
 「国語国文研究」 第75号 1986年(昭和61) 北海道大学国文学會  
 「詩神」 3月号 1927年(昭和2) 詩神社  
 「途上に現われるもの」 11号 1924年(大正13) 途上社  
 「文堂」 2月号 1926年(大正15) 金星堂  
 「日本詩人」 8月号 1926年(大正15) 新潮社  
 「黒潮時代」 1号 1930年(昭和5) 黒潮時代社  
 「詩人時代」 6月号 1932年(昭和7) 詩人時代社  
 「楽園」 4月号 1922年(大正11) 楽園詩社  
 「自然児」 1号 1926年(大正15) 自然児詩社  
 「早稲田大学中退者名簿」 1972年(昭和47) 早稲田大学中退者同窓會  
 「表象」 創刊号 1958年(昭和33) 日本文学美術協會  
 「魔法」 6号 1949年(昭和24) 原地社  
 「Critic」 1号 1951年(昭和26) 月曜書房  
 「羅甸區」 18号 1948年(昭和23) 兄弟書房  
 「国土と教育」 24号 1974年(昭和48) 築地書館  
 「道路建設」 1月号 1967年(昭和42) 日本道路建築業協會  
 「草津公論」 (昭和33年10月1日) 草津公論  
 吉田一穂遺品  
 茶壺 燭台 座卓 墨 筆 眼鏡 パイプ 時計 洛款  
 文鎮 ルーベ 定規 手彫表札など  
 その他  
 「かみしばい まんが ニュース」 1号 1948年(昭和23) 6月25日  
 「かみしばい まんが ニュース」 2号 1948年(昭和23) 7月15日  
 「かみしばい まんが ニュース」 3号 1948年(昭和23) 8月5日  
 吉田一穂自筆メモ記載名刺  
 未発表の童話「あしたのはな」の表紙と挿入絵(原画)  
 三浦まみ(現代の童話画家)による、吉田一穂絵本「ひばりはそらに」の挿絵  
 斉藤佐知(現代の童話画家)による吉田一穂絵本「一つぶのむぎ」の挿絵  
 「鎮魂歌」(作詞・吉田一穂・作曲・細谷一郎) 楽譜  
 「海鳥」(作詞・吉田一穂・作曲・松永通温) 楽譜  
 文芸レコード(日本現代詩大系)  
 ダレス長官歓迎パンフレット  
 初山滋の画伯のペン画(原画)  
 ドン・コザック合唱団来日記念パンフレット 1955年(昭和30)  
 尾西市立三条小学校校歌譜面  
 古平高等学校校歌譜面  
 東京都立千歳高等学校校歌譜面  
 初山滋ペン画原版